

放射線看護に関する教育・人材育成

放射線看護教育支援体制の構築

弘前大学大学院保健学研究科では、放射線看護に関する教育・人材育成の取り組みとして、博士前期課程に設置されている「放射線看護専門看護師(仮称)」を目指した「放射線看護高度看護実践コース」での教育を行うと共に、看護職者を対象にセミナーを開催しています。

平成29年7月1日には、看護職の放射線に関する教育支援を総合的に担う教育拠点として、「放射線看護教育支援センター」を設置しました。本センターは関係機関と適切な連携を図り放射線看護分野の確立と発展に向けた活動を行い、被ばく医療体制強化への貢献に資することを目的とし、「放射線看護高度看護実践コース」の教育に対する支援、看護職・看護教員を対象とした放射線に関する知識の向上を目指した放射線看護セミナーや研修会・相談会等の開催、放射線看護分野の確立・発展に向けた調査・研究活動を行います。



放射線看護教育支援センター
上掲式の様子

『放射線看護高度看護実践コース(博士前期課程)』の教育実践

『放射線看護高度看護実践コース』は、平成27年度から開設され、平成28年6月に日本看護系大学協議会で専門看護師教育課程としての「放射線看護」分野が承認されました。本コースでは、放射線看護の高度看護実践者として、「被ばく医療における看護」と「医用放射線利用に伴う看護」を専門とする看護師を養成しています。

今後、日本看護協会の専門看護分野として特定されるよう活動の継続・拡大を目指しています。

◆ 「被ばく医療における看護」

被ばく医療の拠点となる医療機関毎の受け入れ体制を整える中心的役割となることが期待されます。また、放射線被ばくや防護に関する専門知識を持つ専門職者として住民の健康管理および放射線リスクコミュニケーションができる人材、さらに原子力関連施設立地県だけの問題ではなく核テロへの対策についても準備・対応できる人材育成を目指しています。

◆ 「医用放射線利用に伴う看護」

画像診断や核医学診断等を受ける患者や被検者、家族が安全に、安心して放射線診療を受けることができるように、適宜対応致します。これには医療被ばくや公衆被ばく、職業被ばくの低減、放射線リスクコミュニケーション技術を駆使した被ばくに対する不安へのケアなどを含みます。

「放射線看護高度看護実践コース」 授業の様子・学習環境

本コースは平成29年3月に1期生2名が修了し、「放射線看護実践看護師」(学内称号)が付与されました。現在は3名の学生(2期生1名、3期生2名)が在籍しています。



遠隔授業の様子：職場・自宅と
大学を結び、リアルタイムで授業
を受けることができます



汚染を伴う傷病者を受け入れる際の
ケアを学ぶ演習を行っています



被ばく医療看護のスキルアップ
トレーニングルーム

放射線看護高度看護実践コースのロゴマーク



桜をモチーフにしたロゴマークです。一般に、桜は5枚のピンクの花びらですが、専門看護師の6つの役割(実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究)を花びらで表現し、桜の名所である弘前の地で学びながら、放射線看護の高度看護実践者として開花し、成長していく、という意味を込めて、ピンクからブルーへのグラデーションになっています。

放射線看護セミナー

平成25年度から放射線看護に関心のある医療職者を対象に、日本放射線看護学会や放射線医学総合研究所と共催で放射線に関するセミナーを開催しており、多くの方々に参加していただいております。今後も継続して、国内における数少ない放射線看護の教育拠点として、現職看護職の皆様の放射線看護教育を支援して参ります。

平成25年度～28年度のテーマ及び開催地

- 「放射線看護の高度化・専門化をめざした教育と展望」(東京都)
- 「アメリカにおけるAdvanced Practice Nurse & がん臨床試験」(弘前市)
- 「医用放射線利用の最新知見と放射線検査に関する看護相談に向けて」(千葉市)
- 「放射線診療における看護に必要な最新の知見」(東京都)
- 「あなたも基礎から学んでみませんか！看護師に必要な放射線の基礎」(東京都)

平成29年度

平成29年10月7日(土)(東京工業大学キャンパスイノベーションセンター)

テーマ「放射線診療における看護に必要な基礎知識」

教育講演1：看護に役立つ「放射線・放射線防護の基礎」

教育講演2：看護師のための「放射線診療と看護」



平成28年度
放射線看護セミナーの様子

